

2016年 1月5日 建設通信新聞

高収益体質へ転換

大成ロテック社長

藪田 英俊



事業環境の変化というフォローの風を最大限に生かし、中期経営計画の基本方針に沿って着実に、積極的に会社の持続的発展に取り組んでいかなければならない。量から質への転換は着実に進みつつあり、成果も間違いなく上がっているが、決して驕ることなく地に足を付け、高収益体質への転換、ゆとりの創出、2020年東京五輪後にも発展し続けるための素地形成などに挑戦してほしい。